

広島に行つて学んだこと

武蔵台小中学校 大山 茉莉花

私は日高市代表で広島派遣事業に参加しました。とても行けてよかったです。学校の代表として、日高市の代表六人のうちの一人だと、すごく緊張していました。けれど、引率者の方々と一緒に行く子たちもみんな優しくだったので、このメンバーなら安心して行けるなと思いました。そして、八月五日と六日に広島に行ってきました。

私が学んだことは沢山ありますが、その中でも印象に残ったのは、平和記念式典の子ども代表の言葉と広島平和記念資料館です。子ども代表の言葉では、私と同じ六年生なのに全然も、と年上に見えるようでした。は、きり、と大きな声で自分の想いを沢山のの人に伝えてくれていてすごいな、と思いました。戦争や原爆の恐ろしさや、悲惨さを伝えていました。核兵器をなくしてほしい。と言っていました。本当にそうだなと思います。

す。こうや、て、戦争や原爆のことを伝えていくのは大切なことなんだと改めて思いました。

資料館では、大怪我をした人の写真や亡くなった人の写真、原爆で肌がドロドロになった人たちの絵、八月六日原爆投下当日に着ていた服や持っていたものがボロボロになったものなど沢山展示してありました。貞子さんの折り鶴を見ました。私が思っていたよりも折り鶴は小さかったです。現地に行ってみな

いとわからないうことがわかったので、よかったです。貞子さんのように原爆投下後、生き残った人たちも原爆症で亡くなった人がたくさんいることを知りました。原爆は投下された何年後も何十年後も人を苦しめるものなんだと思います。原爆はとても恐ろしいものだとわかりました。資料館は時間がなく、少しの場所しか見れなくて少し残念でしたが、ここでも、ても勉強ができたと思います。ある展示の写真に写真を撮った方が、

「写真を撮るかまよ」たし。
とかいていました。でも、写真をとってくれ
てよかったです。写真があるおかげで戦争や
原爆の恐しさがわかります。外国の方も沢山
来ていたので写真を見て戦争や核兵器をなく
してほしいと思います。人にも思います。
私はこの広島派遣事業に参加して沢山のこ
とを学びました。少し前までは戦争のことや
原爆のことを知らずにはいました。そんな
深く考えたことはありませんでした。ですが
この経験を通して、はじめは原爆ドームを目の
前で見たし、式典に参加したり、資料館に行
ったりと現地に行かないとわからなかつたこ
とが沢山ありました。そして戦争や原爆の恐
しさや被爆者の方々の思いをしっかりと考えら
れました。広島に行くと学んだことをこの後
も誰ひとり忘れないうちに私は自分の言葉で
しっかりと伝えていきたいです。
広島派遣事業に参加させていただけありが
とうございました。